

人間の感性を豊かにし、想像力を高めていくには、自然との触れ合いが一番です。広場や空き地での追いかっこやごっこ遊び、さらには野球ゲームに興じた日々が、幼少時代の懐かしい思い出となっています。小鳥のさえずり、野山に咲く草花、さまざまな生物と人間の関係を体感し、自然の中での自由な遊びを通して、子どもたちの人間性は高められていきます。

すぐに人を傷つけてしまう少年犯罪の相次ぐ報道は、他者への思いやりにかけた現代の世相を反映しています。利便性や合理性のみを重視した社会、インターネットやモバイルで「いつでも、どこでも、誰でも」ネットワークに簡単につながる社会に子どもたちが参加していると、子どもたちが本来持っている想像力や創造性を奪ってしまい、決して望ましいものではありません。

日々姿を変え、人間の思い通りにならない振る舞いをする「自然」との付き合いこそが、子どもたちの発達に欠かせない経験を与えてくれるのです。